

牡鹿郡 賀美 碧河 餘戸

耶麻郡 分會 津郡 日量

○按ズルニ、安積郡ノ下ナル入野佐戸、芳賀小野ノ四郷高山寺本ニ據レバ、宜シク耶麻郡ノ下ニアルベシ、又安達郡、高山寺本信夫郡ニ作ル、續日本紀ニヨレバ是ナルニ似タリ、又牡鹿郡ノ次ニ更ニ耶麻郡アルハ衍ナルベシ、且ツ分會津郡、日量ノ六字ハ郷名ニアラズシテ、分會津郡置トアルベキヲ誤讀セシモノナラン、

〔都々古和氣神社別當大善院舊記〕陸奥國風土記曰、所以名八櫻者卷向日代宮御宇景行天皇時、日本武尊征伐東夷、而到此地、以八目鳴鑄射賊斃矣、其矢落下處云矢著、卽有正倉改字神龜三年八櫻古老傳曰、
○中略日本武尊執々櫻弓櫻矢而七發々八發々、則七發之矣者、如雷鳴響而追退蝦夷之徒、八發之矢者、射貫八土知朱立斃焉、射其土知朱之征箭悉生芽成櫻木矢、其地云八櫻郷、卽有正倉也、神衣媛與神石萱之子孫會赦者在郷中、今云綾戸是也、

〔集古文書五
譲狀〕明德三年譲狀 陸奥國白川郡矢櫻大善院藏

二所熊野檀那譲狀之事

一八櫻鄉西河都小峯在所住人孫二郎子孫中略

加賀阿闍梨御方譲渡所實也、但出向後若不思儀致度候得者檀那如本旨取進申べく候、仍而爲後日證文狀如件、

明德三壬申五月

駒石侍從阿闍梨良深在判

〔續日本後紀十八
仁明〕承和十五年五月辛未、陸奥國中略伊具郡麻績郷戸主磐城團擬主帳陸奥臣善福、

○中略賜姓阿陪陸奥臣、

〔留守文書〕花押顯家北畠